

秋篠宮皇嗣同妃両殿下は、海の日が祝日となって 30 回目の節目を迎えるにあたり、「海の日記念行事 2025」開会式及び第 18 回海洋立国推進表彰式にご臨席になりました。



ご説明（日本海洋少年団連盟）



おことば



第 18 回海洋立国推進功労者表彰

「海の日記念行事 2025」開会式における秋篠宮皇嗣殿下おことば

本日、海の恩恵に感謝するとともに、海洋国日本の繁栄を願う日である「海の日」の意義を伝えることを目的とする「海の日記念行事 2025」が、ここ東京国際クルーズターミナルにおいて開催され、その開会式に皆様とともに出席できましたことを誠に喜ばしく思います。

そして、海洋に関する学術・研究、幅広い分野における普及啓発や海運業、船舶産業などの海事クラスターの発展に顕著な功績が認められ、海洋立国推進功労者として内閣総理大臣賞が贈られる5名、1団体の皆様に、心からお祝いを申し上げます。

本年は、1941年に制定された「海の記念日」が、「海の日」として国民の祝日となって30回目の節目の年となります。この記念すべき年に、日頃から海洋・海事の振興に力を尽くしておられる皆様とともにこの日を祝うことは、大変意義深いことと考えます。

四方を海に囲まれた我が国は、古（いにしえ）より豊かな恵みを海から受け、生活、産業、文化など、多岐にわたって海と深く関わってまいりました。また、海は人々の心を引き付けるとともに、国内外との様々な交流を通じ、人々の豊かな暮らしに寄与してきました。

しかしながら、海水温の上昇や海洋汚染、海洋資源の枯渇など、海を取り巻く様々な問題が生じております。私たちはこのような諸問題への解決に真剣に取り組み、豊かな海の環境を保全していかなくてはなりません。そのためには、国民一人ひとりが海への関心と理解を持ち続け、次の世代を担う人たちに豊かな海を引き継いでいく取り組みを進めていくことが大切なことと申せましょう。

日本の各地では、「海の日」である今日だけではなく、海の月間である7月を中心として、多くの「海の日」を記念する行事が開催されると伺っております。多くの人たちが、海のことに関心を馳せながらこれらの行事に参加され、海の恩恵に感謝する気持ちが、未来へと受け継がれることを願っております。

おわりに、本日の海の日記念行事を通じて、国民の間に広く海洋についての理解と関心が深まることを祈念し、「海の日記念行事 2025」に寄せる言葉といたします。

出典等：宮内庁ホームページを加工して作成

<https://www.kunaicho.go.jp/page/gonittei/photo/29255>

<https://www.kunaicho.go.jp/page/okotoba/detail/294#3001>